

事業名 事業主体及び提案者	3 障害児者に対する地域生活支援事業 特定非営利活動法人 アシストやまと 代表 春日恵美子																
事業内容 (詳細は別添資料 企画書概要、再提案概要のとおり)	「どうい問題解決しようとしているか」 障害者が地域で生き生きと安心して生活が送れるよう1人1人のニーズに対応する ・自立生活援助 ・作業所や学校・病院等の送迎 ・余暇活動支援																
協働の内容	「具体的な協働の項目」 ・コーディネーター費用の負担 ・公共施設の提供 地域生活支援事業について活動拠点の提供 会議及び活動場所、備品等の保管場所の提供 ・市の機関等で紹介 市の広報、社協だよりの利用 ・研修機会の提供 市の職員の派遣																
審査内容 (評価結果)	<table border="1" data-bbox="491 987 1347 1200"> <thead> <tr> <th></th> <th>実現性が高い</th> <th>熟度を高める必要がある</th> <th>実現することが難しい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政所管課</td> <td></td> <td>障害福祉課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当推進委員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい	提案者				行政所管課		障害福祉課		担当推進委員			
	実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい														
提案者																	
行政所管課		障害福祉課															
担当推進委員																	
コメント (公開審査時)	・アシスト以外の団体と市が実施する場合、協働事業の位置づけを(市の提案による) ・全市的な活動との関係づけが必要か。(推進委員) ・限られた予算の中で他にも同様な活動をしている団体との調整が必要。(行政) ・他団体との協働を考えるとという方向もある。(推進委員) ・行政としてはよい意味で競争があってもよいと考えている。いろいろヒアリングをして考えていきたい。これからの施策の進め方を一緒に考えながら取り組みたい。これも広い意味での協働である。(行政) ・現在は市の直営事業となっているので新しい仕組みとして協働の可能性を追求してほしい。(推進委員)																
公開審査後の経過																	
協働推進会議の意見	・上記4点の協働の内容について提案者と行政が合意できれば、協働事業へと進めていただきたい。																
具体的に検討を要請する事項	協働事業へと進めるため、上記の4点の協働の内容について検討いただきたい。																